

第2学年 単元①「式の計算」(13時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 式の計算方法や文字式を用いることよきを理解し、説明することができる。また、式の加減や単項式の乗除などの計算を能率的にしたり、図形や数の性質を文字式に正確に表したりすることができる。</p> <p>思 計算法則などを基にして、式の計算方法を論理的に考察することができる。また、図形や数の性質について、文字式を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>態 式の計算方法や文字式について理解したことや考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を基に、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「記号化」「演繹的」「図形」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い) と評価基準		
1	<p>◎ 誕生日当ての仕組みについて考察する。 ◆ 「記号化」 【「M①」「M②」】 ☆ 多項式, 単項式, 項 ◇ 誕生日当ての仕組みについて調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	一般的な数として文字を用いることを理解し、説明することができる。	文字式を用いて一般化し、誕生日当ての仕組みについて、論理的に考察することができる。
	B	一般的な数として文字を用いることを理解することができる。	帰納的に誕生日当ての仕組みについて、考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			一般的な数として文字を用いることについて調べるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			一般的な数として文字を用いることについて調べ、自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子、学習プリントの記述
2 3 4	<p>◎ 2種類の文字を含む式の加法・減法の計算方法について考察する。 ◆ 「演繹的」「図形」 【「M①」「M②」】 ☆ 同類項, 次数, 一次式, 二次式 ◇ 文字式の加法の計算方法について調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	単項式の加法・減法の計算方法について理解し説明したり、2種類の文字を含む式の加法・減法について能率的に計算する方法を説明したりすることができる。	面積図や計算法則を基にして、2種類の文字を含む式の加法・減法の計算方法について、論理的に考察することができる。
	B	単項式の加法・減法の計算方法について理解し、2種類の文字を含む式の加法・減法について能率的に計算することができる。	2種類の文字を含む式の加法・減法の計算方法について、考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			2種類の文字を含む式の加法・減法の計算方法について調べるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			2種類の文字を含む式の加法・減法の計算方法について調べ、自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子、学習プリントの記述
5 6 7	<p>◎ 単項式の乗法・除法の計算方法について考察する。 ◆ 「演繹的」「図形」 【「M①」「M②」】 ◇ 立体の体積を比較するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	単項式の乗法・除法の計算方法を理解し説明したり、能率的に計算する方法を説明したりすることができる。	乗法の交換法則や結合法則を基に、単項式の乗法の計算方法について、論理的に考察することができる。
	B	単項式の乗法・除法の計算方法を理解し、計算することができる。	乗法の交換法則や結合法則を基に、単項式の乗法の計算方法について、考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			単項式の乗法・除法の計算方法について立体の体積を比較するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			単項式の乗法・除法の計算方法について立体の体積を比較し、自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子、学習プリントの記述
8 9	<p>◎ 予想したきまりについて考察する。 ◆ 「記号化」 【「M①」「M②」】 ◇ 予想したきまりがいつでも言えるのかを調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	予測したきまりを文字式で表し説明することの必要性や意義、そのよきを理解し説明したり、文字式を用いて、予測したきまりが正しいことを証明したりすることができる。	文字式を用いて一般化し、予測したきまりについて、論理的に考察することができる。
	B	予測したきまりを文字式で表し説明することの必要性や意義、そのよきを理解することができる。	文字式を用いて一般化し、予測したきまりについて、考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			予測したきまりを、文字式を用いて正しいことを証明することについて調べるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
			予測したきまりを、文字式を用いて正しいことを証明することについて調べ、自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子、学習プリントの記述

10 11	◎ 見つけた図形のきまりについて考察する。 ◆ 「記号化」 【「M①」「M②」】 ◇ 図形の性質を調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	見つけた図形のきまりを、文字を用いて説明することの必要性や意義、そのよさを理解し説明したり、文字式を用いて、見つけた図形のきまりが正しいことを証明したりすることができる。	文字式を用いて一般化し、見つけた図形のきまりが正しいことを、論理的に考察することができる。	見つけた図形のきまりを、文字式を用いて正しいことを証明することについて調べるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。	
B	見つけた図形のきまりを、文字を用いて説明することの必要性や意義、そのよさを理解することができる。	文字式を用いて一般化し、見つけた図形のきまりが正しいことを、考察することができる。	見つけた図形のきまりを、文字式を用いて正しいことを証明することについて調べ、自分の考えを振り返ろうとしている。	
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述	
12 13	◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。			
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A	本単元で学習した式の計算方法や文字式を用いることを理解し、説明することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した式の計算方法や文字式を用いることのよさを用いて、課題について論理的に考察することができる。	式の計算方法や文字式を用いることに関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見だし、解決しようとしている。	
B	本単元で学習した式の計算方法や文字式を用いることを理解することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した式の計算方法や文字式を用いることのよさを用いて、課題について考察することができる。	式の計算方法や文字式を用いることに関する課題に取り組み、新しい課題を見だし、解決しようとしている。	
評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	

第2学年 単元②「連立方程式」(14時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 連立方程式とその解の意味や連立方程式の解き方を理解し、説明することができる。また、連立方程式を代入法や加減法で能率的に解いたり、連立方程式を用いて課題を能率的に解決したりすることができる。</p> <p>思 連立方程式の解き方を論理的に考察することができる。また、数量関係を的確に捉え、連立方程式を利用して、論理的に考察することができる。</p> <p>態 連立方程式について理解したことや考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を基に、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「記号化」「図形化」「演繹的」「特殊化」「類推的」「理想化」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い) と評価基準		
1 2	<p>◎ 二元一次方程式とその解、連立方程式とその解について考察する。 ◆ 「記号化」「図形化」 【「M①」「M②」】 ☆ 二元一次方程式、二元一次方程式の解、連立方程式、連立方程式の解、連立方程式を解く ◇ 条件に合う解を求めるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	二元一次方程式や連立方程式とその解の意味を理解し、説明することができる。	二元一次方程式や連立方程式の解を論理的に考察することができる。	条件に合う二元一次方程式や連立方程式の解を求めるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	二元一次方程式や連立方程式とその解の意味を理解することができる。	二元一次方程式や連立方程式の解を考察することができる。	条件に合う二元一次方程式や連立方程式の解を求め、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
3 4	<p>◎ 連立方程式の解き方を考察する。 ◆ 「演繹的」「類推的」 【「M①」「M②」】 ☆ 代入法、加減法 ◇ 連立方程式を解くためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	連立方程式の解き方を理解し、説明することができる。	連立方程式の解き方について、論理的に考察することができる。	連立方程式の解き方について調べ、解を求めるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	連立方程式の解き方を理解することができる。	連立方程式の解き方について、考察することができる。	連立方程式の解き方について調べ、解を求め、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
5 6	<p>◎ 様々な形の連立方程式を代入法や加減法について考察する。 ◆ 「演繹的」「類推的」 【「M①」「M②」】 ◇ 連立方程式を能率的に解くためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	連立方程式の解法について理解し説明したり、連立方程式を能率的に解決する方法について説明したりすることができる。	様々な形の連立方程式で、代入法と加減法のどちらが能率的なのか、論理的に考察することができる。	連立方程式を能率的に解く方法を調べ、能率的に解くとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	連立方程式の解法について理解し、連立方程式を解決することができる。	様々な形の連立方程式で、代入法と加減法のどちらが能率的なのか、考察することができる。	連立方程式を能率的に解く方法を調べ、能率的に解き、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
7 8 9	<p>◎ 連立方程式を用いて課題を解決する。 ◆ 「記号化」「図形化」「特殊化」 【「M①」「M②」】 ◇ 鶴亀算や速さの問題を解くためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	連立方程式を課題解決に用いるよさを理解し説明したり、題意に即した連立方程式を能率的につくる方法について説明したりすることができる。	連立方程式を用いる方法と他の方法とを比較して、連立方程式の有用性について、論理的に考察することができる。	連立方程式を課題解決に用いるよさについて調べ、課題を解決するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	連立方程式を課題解決に用いるよさを理解し、題意に即した連立方程式を能率的につくることができる。	連立方程式を用いる方法と他の方法とを比較して、連立方程式の有用性について、考察することができる。	連立方程式を課題解決に用いるよさについて、課題を解決し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
10 11 12	<p>【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 連立方程式を用いて、身の回りの事象について考察する。 ◆ 「理想化」「記号化」「演繹的」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】</p>		

- ◇ 連立方程式を用いて身の回りの課題を解決するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】
- ◇ 身の回りの課題の解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】

評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	身の回りの事象について、連立方程式を用いることが有効であることを理解し、説明することができる。	身の回りの事象について、数量の関係を文字を用いた式で表し、連立方程式を用いて、論理的に考察することができる。	身の回りの事象の中で連立方程式を用いて課題を解決をすることについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で連立方程式を生かすことができるかを考えようとしている。
B	身の回りの事象について、連立方程式を用いることが有効であることを理解することができる。	身の回りの事象について、数量の関係を文字を用いた式で表し、連立方程式を用いて、考察することができる。	身の回りの事象の中で連立方程式を用いて課題を解決をすることについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
13 14	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。 		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	本単元で学習した連立方程式の解き方や連立方程式を利用することを理解し、説明することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した連立方程式の解き方や連立方程式を利用することのよさを用いて、課題について論理的に考察することができる。	連立方程式に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見だし、解決しようとしている。
B	本単元で学習した連立方程式の解き方や連立方程式を利用することを理解することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した連立方程式の解き方や連立方程式を利用することのよさを用いて、課題について考察することができる。	連立方程式に関する課題に取り組み、新しい課題を見だし、解決しようとしている。
評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト

第2学年 単元③「一次関数」(15時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 一次関数の変化と対応の様子やグラフの特徴を理解し、説明することができる。また、二つの数量の変化を一次関数の関係として捉え、それらを表、式、グラフに能率的に表すことができる。</p> <p>思 一次関数について、表やグラフの特徴や値の変化の割合について論理的に考察することができる。また、具体的な事象の中から一次関数の関係を見だし、それらを表、式、グラフに表して論理的に考察することができる。</p> <p>態 一次関数について考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を吟味し、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「関数」「演繹的」「類推的」「図形」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通した問い) と評価基準		
1 2	<p>◎ 伴って変わる二つの数量の変化や対応の様子を調べるとともに、その表や式から、一次関数の特徴を考察する。</p> <p>◆ 「関数」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】</p> <p>☆ 一次関数</p> <p>◇ 伴って変わる二つの数量について、変わり方の特徴を見付けるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	一次関数の定義とその特徴を理解し、説明することができる。	伴って変わる二つの数量の変化や対応の様子や、一次関数の特徴を論理的に考察することができる。
	B	一次関数の定義とその特徴を理解することができる。	伴って変わる二つの数量の変化や対応の様子や、一次関数の特徴を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
3 4 5	<p>◎ 一次関数の表やグラフをかくとともに、その特徴について考察する。</p> <p>◆ 「関数」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】</p> <p>☆ 変化の割合, 傾き, 切片</p> <p>◇ 一次関数の表やグラフの特徴を調べるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	一次関数の表やグラフの特徴や、かき方を理解し、説明することができる。	一次関数の表やグラフの特徴を論理的に考察することができる。
	B	一次関数の表やグラフの特徴や、かき方を理解することができる。	一次関数の表やグラフの特徴を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
6 7	<p>◎ 一次関数のグラフを能率的にかくことについて考察する。</p> <p>◆ 「演繹的」 【「M①」「M②」】</p> <p>◇ 一次関数のグラフを能率的にかくためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	一次関数のグラフを能率的にかく方法を理解し、説明することができる。	一次関数のグラフを能率的にかく方法を論理的に考察することができる。
	B	一次関数のグラフを能率的にかく方法を理解することができる。	一次関数のグラフを能率的にかく方法を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
8 9 10 11	<p>◎ 一次関数に関する課題を解決する方法を考察する。</p> <p>◆ 「類推的」, 「関数」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】</p> <p>◇ 一次関数に関する課題を解決するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	一次関数の式が決まるための必要条件や、グラフの交点の求め方について理解し、説明することができる。	一次関数の式が決まるための必要条件や、グラフの交点の求め方を論理的に考察することができる。
	B	一次関数の式が決まるための必要条件や、グラフの交点の求め方について理解することができる。	一次関数の式が決まるための必要条件や、グラフの交点の求め方を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
12 13	<p>【拡散的思考】【収束的思考】</p> <p>◎ 一次関数を用いて、身の回りの場面について考察する。</p> <p>◆ 「関数」, 「演繹的」, 「図形」 【「拡M」「収M」】 【「M①」「M②」】</p>		

- ◇ 一次関数を利用して身の回りの問題を解決するには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】
 ◇ 身の回りの課題に数学を用いるには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】

評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	身の回りの事象を解決するために、一次関数を用いて関数関係を見いだし、課題を解決し、説明をすることができる。	一次関数を具体的な場面で活用し、論理的に考察することができる。	具体的な事象の中から一次関数を用いて課題を解決することについて考察すると共に、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で一次関数を生かすことができるかを考えようとしている。
B	身の回りの事象を解決するために、一次関数を用いて関数関係を見いだし、課題を解決することができる。	一次関数を具体的な場面で活用し、考察することができる。	具体的な事象の中から一次関数を用いて課題を解決することについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述

14	◎ 単元レポートに取り組む。		
15	◎ 単元テストに取り組む。		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	本単元で学習した一次関数を理解し、説明することができる。	本単元で学習した一次関数を用いて、課題について論理的に考察することができる。	一次関数に関する課題に主体的に取り組む、自分の考えを振り返り、新しい課題を見出し、解決しようとしている。
B	本単元で学習した一次関数を理解することができる。	本単元で学習した一次関数を用いて、課題について考察することができる。	一次関数に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返りながら、解決しようとする。
評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト

第2学年 単元④「図形の調べ方」(19時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 証明の根拠として用いられる図形の性質を理解し、証明することができる。また、図形の性質を使って角の大きさを能率的に求めたり、様々な図形の性質を証明したりすることができる。</p> <p>思 図形の性質を論理的に考察することができる。</p> <p>感 図形の性質について理解したことや考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を基に、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「図形」「帰納的」「演繹的」「記号化」「特殊化」</p>

時間	節における学習内容(◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通じた問い)と評価基準			
1	<p>◎ 対頂角の性質について考察する。 ◆ 「演繹的」、「記号化」 【「M①」「M②」】 ☆ 対頂角 ◇ 対頂角が等しいことを説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	対頂角の性質を理解し説明したり、その性質を用いて角の大きさを能率的に求める方法について説明したりすることができる。	対頂角の性質について論理的に考察することができる。	対頂角の性質について調べ、その性質を用いて角の大きさを求めるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	対頂角の性質を理解し、その性質を用いて角の大きさを求めることができる。	対頂角の性質について考察することができる。	対頂角の性質について調べ、その性質を用いて角の大きさを求め、自分の考えを振り返ろうとしている。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
2 3	<p>◎ 平行線の性質や平行線になるための条件を考察する。 ◆ 「図形」、「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 同位角、錯角 ◇ 平行線の性質や平行線になるための条件を考えるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	平行線の性質や平行線になるための条件を理解し説明したり、平行線の性質を用いて角の大きさを能率的に求める方法について説明したりすることができる。	平行線の性質や平行線になるための条件について、論理的に考察することができる。	平行線の性質や平行線になるための条件について調べ、平行線の性質を用いて角の大きさを求めるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	平行線の性質や平行線になるための条件を理解し、平行線になる性質を用いて角の大きさを求めることができる。	平行線の性質や平行線になるための条件について、考察することができる。	平行線の性質や平行線になるための条件について調べ、平行線の性質を用いて角の大きさを求め、自分の考えを振り返ろうとする。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
4 5	<p>◎ 三角形の内角の和を求める式を考察する。 ◆ 「図形」、「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 内角、外角、鋭角(三角形)、鈍角(三角形) ◇ 三角形の内角の和が180°であることを説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	三角形の内角の和が180°であることを理解し説明したり、三角形の内角の和を用いて角の大きさを能率的に求める方法を説明したりすることができる。	三角形の内角の和が180°であることを論理的に考察することができる。	三角形の内角の和が180°であることを調べ、三角形の内角の和を用いて角の大きさを求めるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	三角形の内角の和が180°であることを理解し、三角形の内角の和を用いて角の大きさを求めることができる。	三角形の内角の和が180°であることを考察することができる。	三角形の内角の和が180°であることを調べ、三角形の内角の和を用いて角の大きさを求め、自分の考えを振り返ろうとしている。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
6 7 8	<p>◎ 多角形の内角の和を求める式を考察する。 ◆ 「図形」、「演繹的」、「帰納的」 【「M①」「M②」】 ◇ 多角形の内角の和を求めるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	n角形の内角の和が、 $180^\circ \times (n-2)$ であることを理解し説明したり、多角形の内角の和を用いて角の大きさを求める方法を説明したりすることができる。	演繹的な考え方をを用いて、n角形の内角の和が $180^\circ \times (n-2)$ であることを論理的に考察することができる。	多角形の内角の和を様々な方法で調べ、多角形の内角の和を用いて角の大きさを求めるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
	B	n角形の内角の和が、 $180^\circ \times (n-2)$ であることを理解し、多角形の内角	帰納的な考え方をを用いて、n角形の内角の和が $180^\circ \times (n-2)$ であることを考察	多角形の内角の和を調べ、多角形の内角の和を用いて角の大きさを求め、自分の考

	の和を用いて角の大きさを求めることができる。	することができる。	えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
9 10	◎ 多角形の外角の和を求める式を考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ◇ 多角形の外角の和を求めるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	n 角形の外角の和を理解し説明したり、多角形の外角の和を用いて角の大きさを求める方法を説明したりすることができる。	演繹的な考え方を用いて、n 角形の外角の和を論理的に考察することができる。	多角形の外角の和を様々な方法で調べ、多角形の外角の和を用いて角の大きさを求めるとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	n 角形の外角の和を理解し、多角形の外角の和を用いて角の大きさを求めることができる。	帰納的な考え方を用いて、n 角形の外角の和を考察することができる。	多角形の外角の和を調べ、多角形の外角の和を用いて角の大きさを求め、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
11 12	◎ 図形の性質を用いて、課題を解決する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ◇ 角の大きさの和の関係について説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	補助線を引くことのよさを理解し説明したり、図形の性質を用いて角の大きさを能率的に求める方法を説明したりすることができる。	角の大きさの和の関係について、論理的に考察することができる。	補助線を引くことで角の大きさの和の関係について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	補助線を引くことのよさを理解し、図形の性質を用いて角の大きさを求めることができる。	角の大きさの和の関係について、考察することができる。	補助線を引くことで角の大きさの和の関係について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
13	◎ 三角形の合同条件を論理的に考察する。 ◆ 「図形」, 「特殊化」 【「M①」「M②」】 ◇ 三角形の合同条件を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	三角形の合同条件を理解し、説明することができる。	合同な三角形を簡潔にかく方法を考え、三角形の合同条件を論理的に考察することができる。	合同な三角形を簡潔にかく方法を考え、三角形の合同条件を考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	三角形の合同条件を理解することができる。	合同な三角形をかく方法を考え、三角形の合同条件を考察することができる。	合同な三角形をかく方法を考え、三角形の合同条件を考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
14	◎ 三角形の合同条件を用いて、二つの三角形が合同であることを証明する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 仮定、結論、証明 ◇ 辺の長さや角の大きさが等しいことを説明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	三角形の合同条件を理解し、説明することができる。	合同な三角形を簡潔にかく方法を考え、三角形の合同条件を論理的に考察することができる。	合同な三角形を簡潔にかく方法を考え、三角形の合同条件を考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	三角形の合同条件を理解することができる。	合同な三角形をかく方法を考え、三角形の合同条件を考察することができる。	合同な三角形をかく方法を考え、三角形の合同条件を考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
15 16 17	【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 図形の性質を用いて、身の回りの事象について考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】 ◇ 図形の性質を用いて身の回りの課題を解決するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】 ◇ 身の回りの課題の解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	身の回りの事象について、図形の性質を利用することが有効であることを理解し、説明することができる。	身の回りの事象について、図形の性質を用いて、論理的に考察することができる。	身の回りの事象の中で図形の性質を用いることができる図形を見だし、図形の性質を用いて課題を解決することについて

			考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。また、今後どのような場面で図形の性質を生かすことができるかを考えようとしている。
	B	身の回りの事象について、図形の性質を利用することが有効であることを理解することができる。	身の回りの事象について、図形の性質を用いて、考察することができる。
		身の回りの事象の中で図形の性質を用いることができる図形を見だし、図形の性質を用いて課題を解決することについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。	
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			追究の様子、学習プリントの記述
18 19	◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
		主体的に学習に取り組む態度	
	A	本単元で学習した図形の性質や、その性質を利用することを理解し、説明することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した図形の性質やその性質を利用することのよさを用いて、課題について論理的に考察することができる。
		図形の性質に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見だし、解決しようとしている。	
	B	本単元で学習した図形の性質や、その性質を利用することを理解することができる。	様々な方法で考える際、本単元で学習した図形の性質やその性質を利用することのよさを用いて、課題について考察することができる。
		図形の性質に関する課題に取り組み、新しい課題を見だし、解決しようとしている。	
	評価方法	単元レポートの記述、単元テスト	単元レポートの記述、単元テスト

第2学年 単元⑤「図形の性質と証明」(23時間完了)

単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方	知 二等辺三角形や正三角形, 平行四辺形の性質, 平行四辺形になる条件, 等積変形の仕方について理解し, 説明することができる。また, 図形の性質を基にして, 能率的に辺の長さや角の大きさを求めたり, 新たな図形の性質を証明したりすることができる。 思 三角形や平行四辺形などの図形の定義や性質を基にして, 二等辺三角形や直角三角形, 平行四辺形の性質や面積の等しい図形について論理的に考察することができる。 態 図形の性質と証明について理解したことや考察したことを基に, 具体的な場面において主体的に取り組み, 様々な解決方法を基に, よりよい考えを導こうとしている。
	数学的な考え方 「図形」「演繹的」「類推的」

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通した問い) と評価基準		
1 2 3 4	◎ 二等辺三角形の性質やその逆について考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 二等辺三角形の定義, 頂角, 底辺, 底角, 正三角形の定義, 正三角形の性質, 定理, 逆, 反例 ◇ 二等辺三角形の性質やその逆を証明するためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	二等辺三角形や正三角形の性質やその逆を理解し説明したり, それらの性質を用いて角の大きさを能率的に求める方法を説明したりすることができる。	二等辺三角形の性質やその逆を証明するために, 様々な補助線を引いて論理的に考察することができる。
	B	二等辺三角形や正三角形の性質やその逆を理解し, それらの性質を用いて角の大きさを求めることができる。	二等辺三角形の性質やその逆を証明するために, 補助線を引いて考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			二等辺三角形の性質やその逆を証明するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			二等辺三角形の性質やその逆を証明し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子, 学習プリントの記述
5	◎ 直角三角形の合同条件について考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 直角三角形の合同条件, 斜辺 ◇ 直角三角形が合同かどうか確かめるためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	直角三角形の合同条件を理解し, 説明することができる。	三角形の合同条件や二等辺三角形の性質を基にして, 直角三角形の合同条件を論理的に考察することができる。
	B	直角三角形の合同条件を理解することができる。	直角三角形の合同条件を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			三角形の合同条件や二等辺三角形の性質を基にして直角三角形の合同条件について調べるとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			直角三角形の合同条件について調べ, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子, 学習プリントの記述
6 7	◎ 直角三角形の合同条件を用いて, 角の二等分線の性質を考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ◇ 角の二等分線上の点から2直線までの距離が等しいことを調べるためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	角の二等分線が, その角をつくる2直線から等しい距離にある点の集合であることを理解し説明したり, 直角三角形の合同条件を用いて図形の性質を能率的に証明する方法を説明したりすることができる。	直角三角形の合同条件を用いて図形の性質を能率的に証明する方法を論理的に考察することができる。
	B	角の二等分線が, その角をつくる2直線から等しい距離にある点の集合であることを理解し, 直角三角形の合同条件を用いて図形の性質を証明することができる。	直角三角形の合同条件を用いて図形の性質を証明する方法を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			主体的に学習に取り組む態度
			直角三角形の合同条件を用いて図形の性質を調べたり, 能率的に証明したりすると共に, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			直角三角形の合同条件を用いて図形の性質を調べたり, 証明したりして, 自分の考えを振り返ろうとしている。
			追究の様子, 学習プリントの記述
8 9 10	◎ 平行四辺形の性質について考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 平行四辺形の定義, ひし形の定義, 長方形の定義, 正方形の定義, 平行四辺形の性質 ◇ 平行四辺形の性質を証明するためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	平行四辺形の定義と性質を理解し説明したり, それらの定義や性質を用いて図形の性質を証明する方法や能率的に辺の長さや角の大きさを求める方法を説明したりすることができる。	対角線や延長線などの補助線を適切に引き, 平行四辺形の定義や三角形の合同条件などを用いて, 平行四辺形の性質を論理的に考察することができる。
			主体的に学習に取り組む態度
			平行四辺形の定義や三角形の合同条件などを用いて, 平行四辺形の性質について考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとしている。

	きる。		
	B	平行四辺形の定義と性質を理解し、それらの定義や性質を用いて図形の性質を証明したり、辺の長さや角の大きさを求めたりすることができる。	平行四辺形の定義や三角形の合同条件などを用いて、平行四辺形の性質を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			追究の様子、学習プリントの記述
11 12	◎ 平行四辺形になるための条件について考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ☆ 平行四辺形になるための条件 ◇ 平行四辺形であることを証明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	平行四辺形になるための条件を理解し、説明することができる。	対角線や延長線などの補助線を適切に引き、平行四辺形の定義や三角形の合同条件などを用いて、平行四辺形になるための条件が適切であるかどうかを論理的に考察することができる。
	B	平行四辺形になるための条件を理解することができる。	平行四辺形の定義や三角形の合同条件などを用いて、平行四辺形になるための条件を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			追究の様子、学習プリントの記述
13	◎ 論証の意義を考察する。 ◆ 「図形」 【「M①」「M②」】 ◇ 本節の証明について考えるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	論証することの意義を理解し、説明することができる。	平行四辺形になるための条件を用いて、平行四辺形になることを論理的に考察することができる。
	B	論証することの意義を理解することができる。	平行四辺形になるための条件を用いて、平行四辺形になることを考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			追究の様子、学習プリントの記述
14 15	◎ 長方形、ひし形、正方形の定義や平行四辺形との関係を理解するとともに、それらの対角線の性質を考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「M①」「M②」】 ◇ 長方形やひし形、正方形の性質を証明するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	長方形、ひし形、正方形の対角線の性質を理解し説明したり、長方形、ひし形、正方形の定義や対角線の性質を用いて能率的に辺の長さや角の大きさを求める方法を説明したりすることができる。	四角形の包含関係を基にして、それらの図形の性質について論理的に考察したり、長方形、ひし形、正方形の定義や平行四辺形の性質、三角形の合同条件を用いて、それらの対角線の性質を論理的に考察したりすることができる。
	B	長方形、ひし形、正方形の対角線の性質を理解し、長方形、ひし形、正方形の定義や対角線の性質を用いて辺の長さや角の大きさを求めることができる。	長方形、ひし形、正方形の定義や平行四辺形の性質、三角形の合同条件を用いて、それらの対角線の性質を考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			追究の様子、学習プリントの記述
16 17 18	◎ 等積変形について考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」, 「類推的」 【「M①」「M②」】 ◇ 面積が等しくなる図形について考えるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	等積変形について理解し説明したり、等積変形を能率的に行う方法や多角形の面積を二等分する線をひく方法を説明したりすることができる。	平行線や三角形に着目する意図を明確にし、平行線の性質や合同条件などを用いて、二つの三角形の面積が等しくなることを論理的に考察することができる。
	B	等積変形について理解し、等積変形を行ったり、多角形の面積を二等分する線をひいたりすることができる。	平行線の性質や合同条件などを用いて、二つの三角形の面積が等しくなることを考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
			追究の様子、学習プリントの記述

評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
19 20 21	【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 図形の性質を用いて, 身の回りの事象について考察する。 ◆ 「図形」, 「演繹的」 【「拡M」 「収M」】 【「M①」 「M②」】 ◆ 図形の性質を用いて身の回りの課題を解決するためには, どうしたらよいでしょうか。【「RM」】 ◆ 身の回りの課題の解決策を導くためには, どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	身の回りの事象について, 図形の性質を利用することが有効であることを理解し, 説明することができる。	身の回りの事象について, 図形の性質を用いて, 論理的に考察することができる。	身の回りの事象の中で図形の性質を利用して課題を解決することについて考察するとともに, 他者の考えを知り, 自分の考えを振り返ろうとする。また, 今後どのような場面で図形の性質を生かすことができるかを考えようとしている。
B	身の回りの事象について, 図形の性質を利用することが有効であることを理解することができる。	身の回りの事象について, 図形の性質を用いて, 考察することができる。	身の回りの事象の中で図形の性質を利用して課題を解決することについて考察し, 自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
22 23	◎ 単元レポートに取り組む。 ◎ 単元テストに取り組む。		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	本単元で学習した図形の性質や, その性質を利用することを理解し, 説明することができる。	様々な方法で考える際, 本単元で学習した図形の性質やその性質を利用することのよさを用いて, 課題について論理的に考察することができる。	図形の性質に関する課題に取り組み, 自分の考えを振り返り, 新しい課題を見いだし, 解決しようとしている。
B	本単元で学習した図形の性質や, その性質を利用することを理解することができる。	様々な方法で考える際, 本単元で学習した図形の性質やその性質を利用することのよさを用いて, 課題について考察することができる。	図形の性質に関する課題に取り組み, 新しい課題を見いだし, 解決しようとしている。
評価方法	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト

第2学年 単元⑥「場合の数と確率」(12時間完了)

単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方	知 確率の意味と求め方を理解し、様々な事象において、起こる場合の確率を樹形図や表を用いて能率的に求め、説明することができる。 思 起こる場合を順序よく整理する方法のよさについて論理的に考察することができる。また、確率の意味について論理的に考察することができる。 態 様々な事象において、起こりやすさを説明できることを実感し、確率の意味や求め方を基に、具体的な場面で主体的に取り組み、確率を利用した解決方法を吟味し、よりよい考えを導こうとしている。 数学的な考え方 「統計」「図形化」「類推的」
------------------------------------	---

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通した問い) と評価基準		
1 2	◎ 樹形図や表などを用いて、場合の数を調べる。 ◆ 「図形化」「統計」「類推的」 【「M①」「M②」】 ☆ 樹形図、場合の数 ◇ 場合の数を数え上げるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	起こる場合の数を数え上げるのに、樹形図や表を用いるよさを理解し、能率的に数え上げ、説明することができる。	起こる場合の数を、もれや重なりなく数え上げる方法を論理的に考察することができる。	様々な方法を用いた場合の数の数え上げについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	起こる場合の数を数え上げるのに、樹形図や表を用いるよさを理解することができる。	起こる場合の数を、もれや重なりなく数え上げる方法を考察することができる。	場合の数を数え上げについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
3 4	◎ 実験を通して確率の意味を考察する。 ◆ 「統計」 【「M①」「M②」】 ☆ 確率、統計的確率(経験的確率)、数学的確率(先験的確率)、同様に確からしい ◇ 確率を求めるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	数学的確率の意味について理解し、説明することができる。	数学的確率を求めることができる場合について論理的に考察することができる。	予想と実験結果が異なる理由について考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	数学的確率の意味について理解することができる。	数学的確率を求めることができる場合について考察することができる。	予想と実験結果が異なる理由について考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
5 6 7 8	◎ 数学的確率の意味を基にして、確率の求め方を考察する。 ◆ 「図形化」「統計」 【「M①」「M②」】 ◇ 実験をしないで確率を求めるためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	順列と組み合わせの違いに着目して、起こる場合の数をもれや重なりなく数え上げ、確率を求める方法を理解し、説明することができる。	起こる場合の数について論理的に考察することができる。	様々な事象の数学的確率を求めることについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとしている。
B	順列と組み合わせの違いに着目して、起こる場合の数をもれや重なりなく数え上げ、確率を求める方法を理解することができる。	起こる場合の数について考察することができる。	様々な事象の数学的確率を求めることについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。
評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子、学習プリントの記述
9 10	【拡散的思考】【収束的思考】 ◎ 確率を根拠に、事象について判断する。 ◆ 「図形化」「統計」 【「拡M」「収M」】【「M①」「M②」】 ◇ 起こりやすさを判断するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】 ◇ 身の回りの課題の解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	起こりやすさを判断するために、確率を用いることが有効であると知り、起こりやすさを説明するために確率を求めることができる。	起こりやすさを判断する目的に対して、確率を基にどのような視点をもてばよいかを考え、その視点を基に論理的に説明することができる。	具体的な事象の中で確率を利用し課題解決をすることについて考察するとともに、他者の考えを知り、自分の考えを振り返ろうとする。また、今後どのような場面で確率を生かすことができるかを考えようとしている。
B	起こりやすさを説明するために確率を求めることができる。	起こりやすさを判断する目的に対して、確率を基に説明することができる。	具体的な事象の中で確率を利用し課題解決をすることについて考察し、自分の考えを振り返ろうとしている。

	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述	追究の様子, 学習プリントの記述
11	◎ 単元レポートに取り組む。			
12	◎ 単元テストに取り組む。			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	A	起こりやすさを判断するために、確率を用いることが有効であることを理解し、起こりやすさを説明するために確率を求めることができる。	本単元で学習した確率に関する知識を用いて、課題を論理的に考察することができる。	確率に関する課題に取り組み、自分の考えを振り返り、新しい課題を見だし、解決しようとしている。
	B	起こりやすさを説明するために確率を求めることができる。	本単元で学習した確率に関する知識を用いて、課題を考察することができる。	確率に関する課題に取り組み、新しい課題を見だし、解決しようとしている。
	評価方法	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト

第2学年 単元「箱ひげ図とデータの活用」(9時間完了)

<p>単元の目標 および 再認識させたい 数学的な考え方</p>	<p>知 目的に応じて、能率的にデータを整理したり、整理したデータからその傾向や特徴を正確に読み取ったりすることができる。また、目的に応じたデータの収集や、箱ひげ図を用いた整理の仕方及びデータの傾向や特徴の読み取り方について理解し、説明することができる。</p> <p>思 データの傾向や特徴を読み取り、論理的に考察することができる。また、考察したことを他人に分かりやすく説明するためにデータを活用することができる。</p> <p>態 意欲的に目的に応じたデータを収集し、箱ひげ図や他のグラフに整理し、そのデータの傾向や特徴を読み取り、データを活用して考察したことを基に、具体的な場面において主体的に取り組み、様々な解決方法を吟味し、よりよい考えを導こうとしている。</p>
	<p>数学的な考え方 「統計」「図形化」「数量化」</p>

時間	節における学習内容 (◎学習活動 ◆節を通して再認識させたい数学的な考え方 ☆節で学習する用語や記号 ◇節を通した問い) と評価基準		
1 2 3	<p>◎ 箱ひげ図を用いたデータの整理の仕方を考察する。また、整理したデータからその傾向を読み取る。</p> <p>◆ 「図形化」「統計」 【「M①」「M②」】</p> <p>☆ 第1四分位数, 第2四分位数, 第3四分位数, 四分位数, 箱ひげ図, 四分位範囲 (第3四分位数-第1四分位数)</p> <p>◇ データを整理して、その傾向を読み取るためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	箱ひげ図について理解し、目的に応じて、能率的にデータを整理したり、整理したデータからその傾向や特徴を正確に読み取ったりして、説明することができる。	データの傾向を読み取るのに、箱ひげ図を用いて論理的に考察することができる。
	B	箱ひげ図について理解し、目的に応じて、データを整理したり、整理したデータからその傾向や特徴を読み取ったりすることができる。	データの傾向を読み取るのに、箱ひげ図を用いて考察することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
4 5 6 7	<p>【拡散的思考】【収束的思考】</p> <p>◎ 整理したデータからその傾向を読み取り、読み取ったことを活用する。</p> <p>◆ 「図形化」「数量化」「統計」 【「拡M」「収M」】 【「M①」「M②」】</p> <p>◇ データを活用して解決策を提案するためには、どうしたらよいでしょうか。【「RM」】</p> <p>◇ 身の回りの課題について解決策を導くためには、どうしたらよいでしょうか。【「拡・収RM」】</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	目的に応じたデータの収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、代表値を能率的に求めたり、箱ひげ図や他のグラフを能率的につくったりして、説明することができる。	目的に応じて、データの傾向を読み取り、論理的に物事を判断することができる。
	B	目的に応じたデータの収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、代表値を求めたり、箱ひげ図や他のグラフを能率的につくったりすることができる。	データの傾向を読み取り、物事を判断することができる。
	評価方法	学習プリントの記述	学習プリントの記述
8 9	<p>◎ 単元レポートに取り組む。</p> <p>◎ 単元テストに取り組む。</p>		
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現
	A	目的に応じた資料の収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、代表値を能率的に求めたり、箱ひげ図や他のグラフを能率的につくったりして、説明することができる。	目的に応じて、資料の傾向や特徴を読み取り、論理的に物事を判断することができる。
	B	目的に応じた資料の収集、整理、傾向の読み取り方などの必要性を理解し、代表値を求めたり、箱ひげ図や他のグラフをつくったりすることができる。	資料の傾向や特徴を読み取り、物事を判断することができる。
	評価方法	単元レポートの記述, 単元テスト	単元レポートの記述, 単元テスト